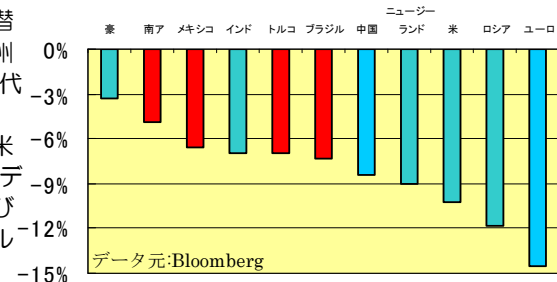


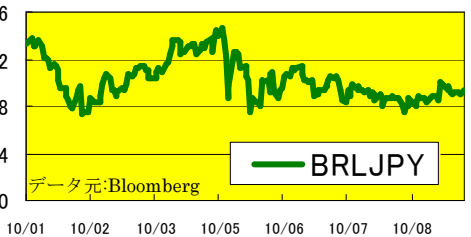


エマージング通貨の対円年初来騰落率 10年1月1日～10年9月30日



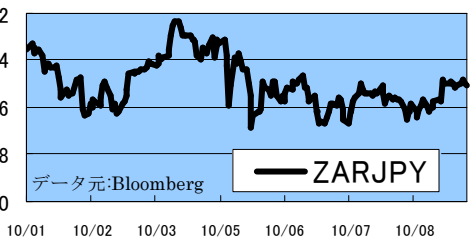
直近の動向

9月初め、米紙が欧州金融機関への健全性審査で一部金融機関が潜在的にリスクのある国債の保有高を過少報告していたと報道。欧州懸念が再燃し、リスク回避の動きとなった。また、14日に民主党代表選で菅直人首相が再選、円買いが進み、一時82円台を付けた。これを受け、日銀が6年半ぶりの為替介入を行ったが、21日に米FOMC声明文の「必要あれば追加緩和の準備がある」との文言やデフレへの警戒感の強調等から米金利が低下、ドル全面安となり再び円高が進行、介入前の水準に戻ってしまった。新興国通貨は対ドルで上昇しており、対円では介入後、ほぼ横ばいで推移している。



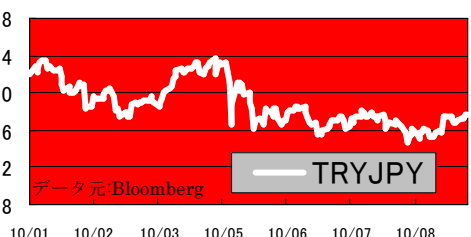
ブラジル

1日に政策金利を10.75%に据え置き。3日に第2四半期GDPが発表され、前期比+1.2%、前年比+8.8%となり、事前予想を大幅に上回る結果となった。また、失業率が低下、8月失業率は過去最低の6.7%となり、堅調な雇用情勢が内需の好調を裏付けている。ブラジル政府はレアル高抑制のために様々な対策を講じている。大統領選挙は、過半数を取得できなければ10月末に決選投票となる。



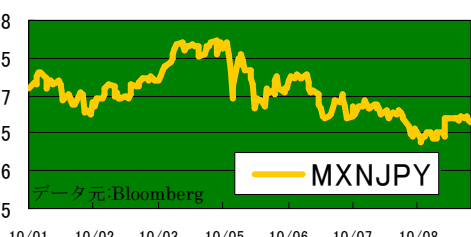
南アフリカ

9日に政策金利を6.00%に引下げ。中銀総裁の「これ以上の利下げは限定的」との発言や為替介入の可能性が事実上否定されたため、通貨ランドの動向は落ち着いていた。金価格が上昇し、史上最高値を更新。今後、これがランド高を呼び、輸出へ影響が出ることが懸念されている。8月から続く公務員組合の大規模ストライキが6日に停止、学校や病院の混乱や閉鎖は改善される見通し。



トルコ

16日に政策金利を7.00%に据え置き。14日に第2四半期GDPが発表、前年同期比+10.3%となった。中銀は現在の財政状況は中期的なリスク要因であるとした。GDPは過去の数字であり、景気はすでに減速の兆候を示している。貿易赤字が毎月のように拡大、1月～7月合計が前年同期の2倍近くまで拡大している。国民投票の結果、憲法改正案が承認された。株式市場が史上最高値を更新。



メキシコ

24日に政策金利を4.50%に据え置き。8月失業率が5%台とやや好転。製造業の伸びは高いが米景気の減速に直面している。また、国内の個人消費の伸びは依然として金融危機前の水準を下回っている。中期的には麻薬関連の暴力拡大がメキシコの信用力を脅かし、治安情勢がソブリン格付けのリスク要因であると初めて格付け機関が明言。今後の動向は暴力事件の報道にも左右される可能性がある。

為替レート見通し

対円 (JPY)	10/10	11/01	11/04	11/10
米ドル (USD)	83	81	82	84
ブラジルレアル (BRL)	49	49	51	52
南ア・ランド (ZAR)	11.9	11.9	12.0	12.2
トルコリラ (TRY)	57	57	56	56
メキシコペソ (MXN)	6.63	6.59	6.67	6.75



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2010年10月1日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
 東京都中央区新川
 一丁目21番2号
 茅場町タワー
 TEL: 03-5541-9208

京都支店 :
 京都市中京区烏丸通
 錦小路上手洗水町
 659番地 烏丸中央ビル
 TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
 大阪市中央区南船場
 一丁目18番17号
 商工中金船場ビル
 TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
 名古屋市中村区名駅
 三丁目22番8号
 大東海ビル
 TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
 札幌市中央区
 北一条西二丁目1番地
 札幌時計台ビル
 TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
 埼玉県越谷市赤山本町
 2番14号
 越谷駅西口TRビル
 TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
 兵庫県宝塚市逆瀬川
 一丁目11番1号
 アピア2
 TEL: 0797-77-7751